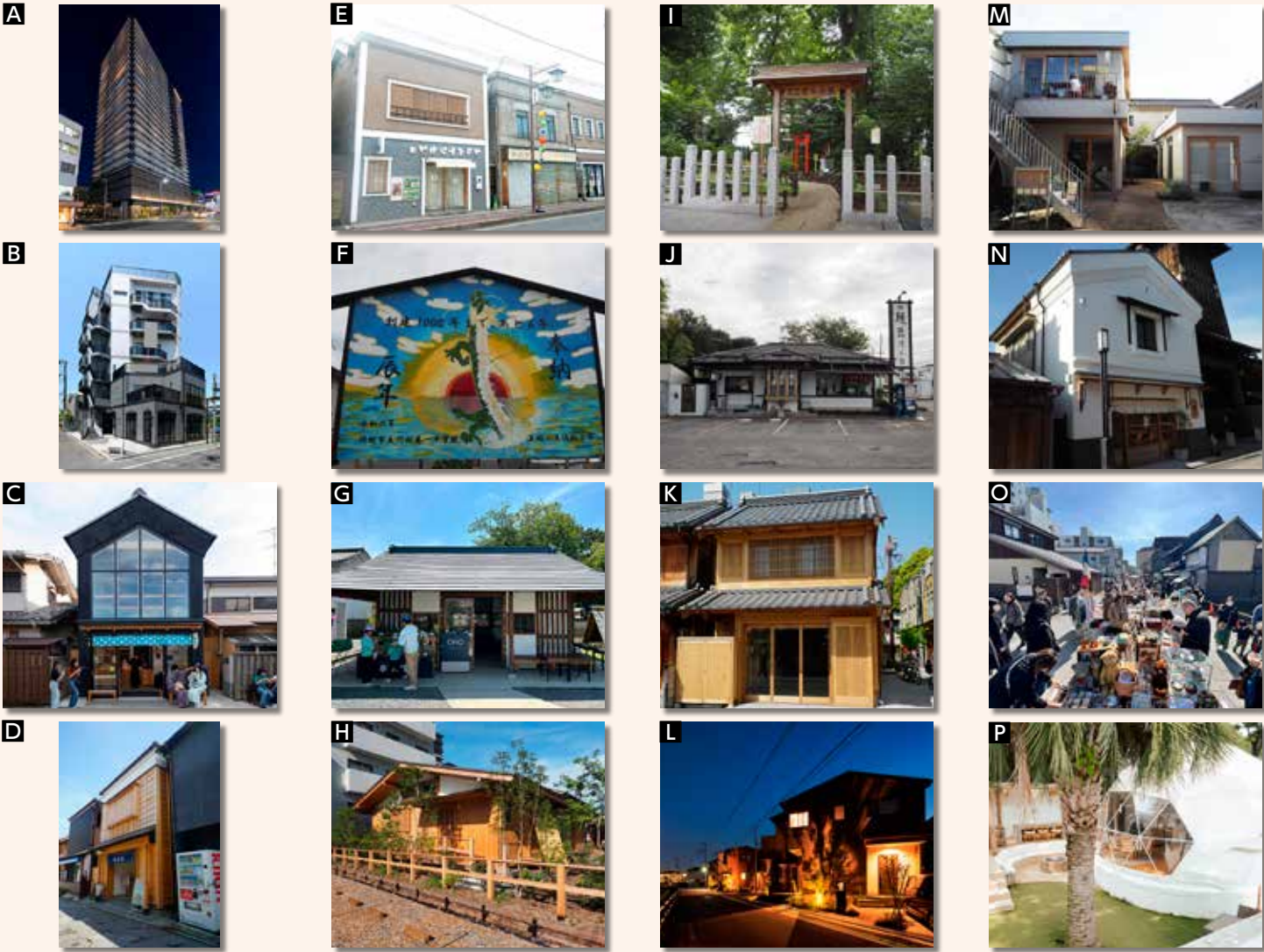


受賞作品の良きライバルとして



A The Park House 川越タワー	E NJ2 号館	I 川越八幡宮の「こころの小径」	M Spaco K(スパッツォ K)
B ジョージビル脇田	F 川越第一中学校の「大絵馬」	J 下赤坂麵匠清兵衛	N 風呂屋
C 川越バウム Lab	G onocafe	K 路地入口に建つ木造町屋店舗	O 大正浪漫夢通りの蛸の市
D 菓子屋横丁 簞子下見板張店舗	H 自然を楽しむ街の家	L ブリスト川越都季の街	P ザ・グランテラス

まちかど審査会

候補作品の写真の中から優れていると思われる作品を3点選ぶ市民投票を行いました。
投票者数は384人でした。

実施場所、日時：電子投票	令和6年8月5日～8月30日
本庁舎1階	令和6年8月13日～8月16日
コエトコ	令和6年8月20日～8月25日

▶審査部会



川越市都市景観審議会 景観表彰審査部会

候補作品を実際に見て回り、選考審査を行いました。
開催日：令和6年9月27日

石井 成人 川越商工会議所建設業部会 部会長	西川 亮 立教大学観光学部 准教授
倉田 直道 工学院大学 名誉教授	日色 真帆 東洋大学理工学部建築学科 教授
篠崎 幸恵 東京家政大学家政学部造形表現学科 講師	松山 潤 公益社団法人小江戸川越観光協会 会長
近田 玲子 照明デザイナー	(敬称略、50音順)

問い合わせ先／川越市 都市計画部 都市景観課／TEL：049-224-5961（直通）

かわごえ都市景観表彰
Award For Kawagoe Landscape Design

令和6年度

川越市
Kawagoe City

かわごえ都市景観表彰

AWARD FOR KAWAGOE LANDSCAPE DESIGN

かわごえ都市景観表彰は歴史と伝統が薫る川越の景観に調和し、今後の都市景観を形成していくうえで、その先駆又は象徴と考えられる建築物等に対して表彰するものです。平成2年から数年おきで開催され、今回で17回目を迎えました。

これまでの川越を形づくってきた風景や自然に対して、どういった景観要素が加えられ、新たな風景を生みだしていくのか。歴史ある町並みに積極的に調和し、新たな都市構築の中でシンボルあるいはリーダーとなり、ときには斬新な試みや提案があらわれます。年々変わりゆく都市にあって、今後の川越しさを積み重ねていくモデルとなる素材を顕彰することにより、まちづくりの糧にしたいと思います。

都市景観賞 LANDSCAPE PRIZE

良好な都市景観の形成に寄与し、地域の個性及び特色の伸長に資すると認められるものに与えます。

りそな コエドテラス

幸町4-1



商家町川越のランドマーク健在

一番街の中央に位置する銀行建築が、次世代の産業創出と地域活性化の拠点として再生されました。埼玉県第一号の登録有形文化財である本館は丁寧に修復されており、中の機能は変わっても、地域のランドマークとしての存在感を変わらず放っています。同心町通りに繋がる屋外イベントスペースは、歩行者の滞留や通り抜けを上手に受け入れていて、賑わいの広がりがもたらす新たな景観の創出が期待されます。

- 建築主 株式会社埼玉りそな銀行
- 設計 株式会社松田平田設計／株式会社ネクスト・エム
- 施工 大成・川木・初雁・岩堀特定建設工事共同企業体

こしやね いえ 越屋根の家

南大塚



生活がデザインする空間

武蔵野の農家の母屋として建てられたこの建物は、周辺の環境や生業に必要な農機具等とも一体となって、どの方面から見ても美しく、生活そのものがデザインになっています。低いプロポーションに抑えた機能的な越屋根は、新しいのに昔からそこに建っていたかのような佇まいを持たせることに成功していて、建築の質の高さを感じさせます。

- 建築主 荒幡 克典
- 設計 株式会社リオタデザイン
- 施工 堀尾建設株式会社

ひかわ もりせい び けいかく 氷川の杜整備計画

宮下町2丁目11-3



鎮守の杜と共に

歴史ある神社の境内で、100年後を見据えて地域と共に成長する杜づくりが行われています。杜の奥に佇む新しい氷川会館は、北に流れる新河岸川を上手く背景に取り入れ、正面からは大屋根と、高低差を生かしたアプローチの姿だけを覗かせています。今回あわせて造られた離れやトイレの建物だけでなく、周辺の関連施設との繋がりも意識したデザイン構成となっています。何年もかけてエリアの景観整備に取り組んできた川越氷川神社の、一貫した思いが伝わってきます。

- 建築主 川越氷川神社
- 設計 共和木材建築設計室／増岡設計室／木元洋佑建築設計室
- 施工 川木建設株式会社／株式会社こねフローリスト／箱根植木株式会社

いなりこうじ ろ じけいかん こう 稲荷小路の路地景観(幸すしファサード)

元町1丁目13-7



おもてなしの心意気がつくる景

蔵造りの町並みから細い路地に入っていくと、お店の外壁に設けられた「江戸見格子戸」が散策する人の目を楽しませてくれます。格子の背面には、小江戸と称される川越の一番街商店街で取組む「江戸の日」のイベントに合わせて、浮世絵を簡略化し塗分けした絵が描かれており、奥に設置された鏡に映し出される仕掛けとなっています。日中の鏡には対面の緑や神社も映り込み、小路の奥行と、その先への期待感を上手に演出しています。

- 建築主 株式会社貴響
- 設計 守山登建築研究所
- 施工 株式会社大九工務店

せんばとうしょうくうしやむしよぶらすか ふ え あ ん ど ん 仙波東照宮社務所+CAFE ANDON

小仙波町1-21-1



守り継ぐ者たちの思いを乗せて

老朽化した社務所が、新たな機能を伴って建て替えられました。高さを抑え、木の風合いを見せるデザインは、仙波東照宮の緑の元、地域の休み処として長く愛されてきた旧社務所の記憶を受け継ぎながらも、外壁に用いたガラスから漏れ出る光が行燈のように地域に漏れ出でて行く様子が、ここから新しい活動が発信されて行くことを予感させます。国指定重要文化財建造物を含む史跡の景観の向上に寄与するとともに、若い事業者との出会いによって「仙波東照宮」を未来へ継承して行くための計画となりました。

- 建築主 宗教法人 仙波東照宮／CAFE ANDON
- 設計 株式会社草野建築設計事務所／木元洋佑建築設計室
- 施工 オーエフ株式会社

景観表彰審査部会員 総評

かわごえ都市景観表彰は、回を重ねるごとにレベルが上がって来ており、選考には大変苦慮いたしました。これまでの、川越の伝統的な様式の建物が評価される傾向もみられましたが、今年は候補作品も多様化しており、川越の景観も新たなステージに入ってきたと感じています。

前回以前の選考においては、建物単体での評価が多く見られましたが、今回はそこに留まらず、周辺環境を巻き込んだ提案や、エリア全体の景観形成に寄与する取組みについて重視し、今後への期待も含めた活発な議論が行われました。

表彰作品を見てみますと、まちのランドマークでもある近代洋風建築のリノベーションをはじめ、川越名物を栽培する農家の住宅、川越まつりの起源である神社の杜の整備、国指定重要文化財を守る氏子と若者による新しい社務所としての試み、川越のまち歩き醍醐味である路地散策へのおもてなしといった、バラエティに富みながらも、川越の歴史的風致を主軸にとらえ維持向上にも深く寄与する景観となっております。

惜しくも受賞を逃した作品においても、環境への配慮と建築の質が高いと感じた「自然を楽しむ街の家」や素材とフォルムにこだわった「川越バウム Lab」など、建築単体として高く評価された作品も多くありました。また、若い家族同士でコミュニティを形成し成長中の住宅地や駅前のタワーマンション、郊外のグランピング施設やまちなかの店舗建築、商店街のイベントといった、多様化する市の特性を表す作品に加え、川越八幡宮に20年にわたり奉納され続けている「川越第一中学校の大絵馬」といった歴史ある活動についても応募いただいたことは、このかわごえ都市景観表彰の取り組みが、広く市民に浸透して来ている証としてとらえ、大変嬉しく思います。